

第 7 回検討会

旭川市民文化会館整備基本構想(素案)

2023.12.22

検討の経緯

令和4年度「旭川市民文化会館の在り方検討会」

旭川市民文化会館の課題を整理し、今後の目指すべき方向性、整備に向けた考え方などの在り方等について意見集約を行った結果、**建替え**に向けた検討を進めることを決定した。



令和5年度「旭川市民文化会館整備基本構想検討会」

	日程	議題
第1回	令和5年6月13日	検討会趣旨説明 旭川市民文化会館の整備の方向性について
第2回	令和5年7月26日	先行事例について
第3回	令和5年8月17日	旭川市民文化会館整備に係るコンセプトについて
第4回	令和5年9月 5日	グループディスカッション (旭川市民文化会館整備に係るコンセプトについて)
第5回	令和5年10月30日	グループディスカッション (施設の機能・規模について)
第6回	令和5年11月20日	コンセプト・キーフレーズ (案) について 敷地の要素について
第7回	令和5年12月22日	旭川市民文化会館整備基本構想 (素案) について

目次

第1章 基本構想策定の背景

1.1 はじめに

1.2 基本構想策定の経緯

第2章 新文化ホールを取り巻く環境

2.1 文化ホールを取り巻く動向

2.2 旭川市における関連計画等

2.3 旭川市民文化会館の現状と課題

2.4 旭川市及び周辺市町のホール設置状況

2.5 検討の経緯 **第1回検討会**

第3章 新文化ホールの基本的な考え方

3.1 基本理念 **第4回検討会**

3.2 基本的な役割

第4章 新文化ホールに必要な機能と考え方

4.1 新文化ホールの施設概要 **第5回検討会**

4.2 新文化ホールの建設地 **第6回検討会**

4.3 新文化ホール整備事業

第5章 管理運営方法の考え方

5.1 管理運営方法の基本的な考え方

第6章 今後の進め方

6.1 今後のスケジュール

6.2 市民意見の取入れ

6.3 今後の課題

資料編（作成中） 第2回・第3回検討会

類似事例（施設）の状況（先進事例視察）

利用団体アンケート調査

第7回検討会

旭川市民文化会館整備基本構想(素案)

第3章 新文化ホールの基本的な考え方

- 基本理念

- 基本的な役割

第4章 新文化ホールに必要な機能と考え方

- 新文化ホールの施設概要

- 施設機能

- 多機能化の検討

- 施設整備における配慮事項

- 施設の規模

次世代へつなげる文化交流活動の拠点： シビックプライドを育む道北のランドマーク

「文化交流活動＝過去から未来へと続く地域の共有財産」と捉える

→ 文化ホールは「次世代へつなげる＋地域に広がる」拠点として機能

シビックプライド：都市に対する市民の誇りや愛着

ランドマーク：都市における目印や象徴となる対象物

「ここに行けば自分も何かできる」

「ここでは出合いや交流が生まれる」

を目指していく

検討会で出たキーワードをもとに構成

- (1) **日常利用**：敷居を低くし，自然な交流を生む
- (2) **多機能連携**：既存施設の単純な継承ではない，市内外の施設との連携
- (3) **インクルーシブ**：全市民に開かれ，親しみとなじみある施設に
- (4) **まちづくり**：広域での位置付けを明確にし，市民参加・協働に取り組む
- (5) **シンボル**：道北の中心都市としての旭川らしい施設，市民の出会い・交流
- (6) **アクセシビリティ**：活動機会や情報を提供，誰もが気軽に利用しやすい施設
- (7) **コストパフォーマンス**：コストの適正化，持続的なサービスの質の向上

4.1 (1) 施設機能 P33～35

新文化ホールにおいて、
4つの基本的な機能【鑑賞】【活動】【交流】【発信】を備えます。

鑑賞 市民が文化芸術を堪能できる場

活動 市民の自主的で相互に刺激を受け合うことのできる活動の場

交流 多様な交流を生み出し、まちづくりに貢献できる場

発信 新文化ホールや、まちの文化芸術に関する情報発信

鑑賞

市民が文化芸術を堪能できる場をつくります

- 著名なアーティストの公演から文化団体の公演や発表まで、柔軟に様々な催しを受け入れられるようにします
- 芸術鑑賞への敷居の高さを取り払いつつ、文化芸術に対する更なる興味をかき立て、市民が文化芸術の担い手として育っていくようにします

活動

市民の自主的で相互に刺激を受け合うことのできる
活動の場をつくります

- 創作意欲をかき立て、主体的な活動を後押しするような場所と設備を提供します
- 誰もが思い思いに自由な活動を展開できる場所を提供します

交流

多様な交流を生み出し，まちづくりに貢献できる場をつくります

- 道北の中心として市外の人を訪れるコンベンションを開催できる施設機能を備えます
- 文化芸術に関心がある人だけでなく関心がない人でも，ふらっと立ち寄って飲食やお喋りができるようなスペースを設けることで市民同士が関わるきっかけを提供し，人々の交流を促します

発信

新文化ホールや、まちの文化芸術に関する情報を広く発信します

- 主催事業のみならず、施設で開催される情報を発信し、公演等の集客の向上と施設の利用促進に積極的に取り組みます
- 市内の文化芸術活動に関する情報を効果的に提供することで、市民の活動が広がっていく起点となることを目指します
- 次世代の子どもたちへ文化交流活動に関する知識や経験を伝えるための発信拠点とします

4.1 (2) 多機能化の検討 P35

基本構想で示した「鑑賞」「活動」「交流」「発信」の機能が効果的に発揮できることを目指し、多機能化の具体的な内容や複合化については、今後策定する基本計画で定めていきます



4.1 (3) 施設整備における配慮事項 P35～38

(1) で示した4つの基本的な機能ごとに、各諸室の基本的な方針や配慮すべき点について示します。

鑑賞

ホール／ホワイエ／ギャラリー／楽屋／バックヤード・搬出入口

活動

活動室

交流

共用スペース／オープンスペース／飲食施設

発信

事務室／エントランス

その他

駐車場

鑑賞

○ホール

著名なアーティストによる公演ができるような**音響性能**を備え、
コンベンションでの利用にも対応できる**多目的なホール**を目指します

文化芸術活動を中心とした発表や練習，講演会やシンポジウムなどの集会の場として，利用者自らがホールの使い方を創意工夫できるように幅広い用途に対応できるよう，**メインホール以外のホールを整備**します

鑑賞

○ホワイエ

公演前の高揚感や公演後の余韻を感じることでできる**居心地の良い雰囲気**を重視するとともに、公演がないときにも滞在できるような空間の工夫が求められます

○ギャラリー

現旭川市民文化会館の展示室の使われ方を鑑みつつ、グループ展示会やコンベンション時の企業展示などの**多様な展示内容**に柔軟に対応できるようにします

鑑賞

○楽屋

公演前の練習に対応できるように防音などの性能面に配慮します。楽屋利用者が公演前に**リラックスして過ごせる**ように居心地の良い空間とします

○バックヤード・搬出入口

ホールとの高い接続性を持たせ、出演者や舞台技術者の**スムーズな移動**ができるよう十分な動線空間を確保します

搬出入口は楽器や舞台備品の出し入れが円滑に行えるように大型搬入車両の**荷捌きスペースを充実**させます

活動

○活動室

会議室やスタジオ，リハーサル室など，市民の**様々なニーズに合わせて利用**できる諸室です

創作活動はもちろん，文化芸術にとどまらない多様な活動も含めた市民の主体的な活動に対応できる**フレキシブルな機能**を検討します

コンベンションの開催に対応できるよう工夫するとともに，市民の活気あふれる活動の様子を**施設全体で共有**できるように配慮します

交流

○共用スペース

ギャラリー機能を設けるなどの工夫をすることで、**市民が気軽に立ち寄ることのできる空間**とします

公演や催しが無いときでも利用者の訪問を促す**学習や飲食が可能なスペース**をつくり、市民にとって居心地の良い場をつくります

マルシェや企業展示などのイベントに対応できる十分な広さを確保するとともに、**他の機能や諸室との連携**も考えます

交流

○オープンスペース

共用スペースと同様，他の機能や諸室との連携を考え，イベント開催時に**一体的な利用が可能**となるように配慮します

○飲食機能

希望が多い機能であるものの，**採算性**の面などで運営者の確保に苦慮している事例も多いことから，基本計画の策定において，設置に向けた検討を進めます

発信

○事務室

利用者とスタッフとの関係を構築しやすいよう、働いているスタッフの様子が感じられるよう工夫するとともに、スタッフにとっての働きやすさや居心地にも配慮します

○エントランス

特別な用事がない市民も気軽に立ち寄れるオープンなエントランスとします。また、エントランスから諸室の位置や関係性が一目で分かるような**視認性**と各諸室までの高い**アクセシビリティ**を持つ空間とします

その他

○駐車場

駐車場法及び旭川市建築物における駐車施設の附置等に関する条例における必要台数の駐車場を整備するとともに**車いす利用者等の駐車場所**を確保します

駐車場の整備については、建設場所に関わることから、基本計画の策定において、具体的な検討を行います

4.1 (4) 施設の規模 P38

現在の旭川市民文化会館で課題となっているホール座席間隔の狭さやトイレの不足といった**ハード面の課題の解消**が必要であり，延床面積としては，現在の旭川市民文化会館の規模より**大きくなる**ことが予想されます

一方で，施設規模が大きくなると**建設費は増加**することから，本基本構想の施設機能を踏まえ，基本計画において，ホールの席数や規模のほか，効果的な各諸室の配置などについて，十分な検討を行います

